

@ 第1学年通信

第 6 号
7 月 16 日発行
文責：水澤 秀

3 日間の N 高祭が終わりました

“密”制限や“大声”制限のない、3日間日程のN高祭が3年ぶりに復活しました。保護者の皆様におかれましては、バザーのご協力をはじめ、一般公開日の来校など、多大なご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。また、当初の予定にはなかったにもかかわらず、生徒たちの強い要望による花火の打ち上げを、PTA費からの捻出によって実現していただきましたことも、この場を借りて深く感謝申し上げます。

1 学年の生徒たちにとっては初めてのN高祭でしたが、その校内装飾や仮装パフォーマンスの内容は（ひいき目ではなく）レベルが高かったと思います。普段は生徒に対してうるさいことばかり言っている私ですが、この3日間はただ生徒たちがすることを愉しんで見ていただけです。授業中とはまったく違う生徒たちの“知られざる一面”や、“意外な才能”を見られたことは、大きな収穫でした。準備段階や本番では、各クラスともいろいろな問題が生じていたようですが、それもまた大切な勉強です。他者との^{あつれき}軋轢を乗り越えていくことで、一つずつ大人になっていくと信じています。

一つ、心配事は、またコロナの感染が増加していることです。札幌あたりでは学校祭に端を発する集団感染が発生し、学校閉鎖となる高校も出ていました。この3日間で生徒たちの疲労もピークに達しているようです。さいわい、祝日と振替休日を合わせて3日間の休みとなりますので、コロナに負けないよう体力を回復してほしいと思います。

夏休みが始まります

1 年生の夏休みは、国・数・英の夏期講習（普通科対象）を7月27日（木）・28日（金）の2日間しか設定していません。また、総合ビジネス科対象の全商検定もありません。ただし、それは決して生徒を“遊ばせる”ためではありません。本校では、1 学年の前期を「高校生活に慣れる／職業・学校を知る」ための期間と考えています。まずは高校生活をきちんと送れるよう生活習慣を整えさせ、自分の将来に対して深く考えるための情報を与えることが大切だと考えているからです。実際、中学時代にはかなり欠席の多かった生徒もいたようですが、現在、ほとんどの生徒が休まずに高校生活を送れています。

次の段階は「家庭学習」の習慣づけです。この夏休み中に1日3～4時間、最低でも2時間、これまでまったく家庭学習をしてこなかった子は30分でもいいので、机に向かって勉強をする習慣を身につけてほしいと思います。後期からは本格的な進学講習や検定の勉強が始まりますが、「家庭学習」の習慣があるかないかで、学習内容の定着度はまったく変わってきます。ぜひご家庭でも、お子様が学習しやすい環境作りにご協力ください。